

# テクニカル・データ・シート

カイク・ソルダリット (Keim Soldalit®) —

外壁塗料 (有機塗料のトップコート向け、鋳物系・両方が混在する下地向け)



## 1. 製品概要

カイク・ソルダリット (外装用塗料) は実績のあるゾルシリケートと水ガラスの組み合わせによる結合剤で外壁専用に特化したシリケート塗料です。この結合剤はシリケート塗料が鋳物系下地に塗布できるようにするだけでなく、多くの有機下地に中間塗りなしで直接塗布できます。カイク・ソルダリットはシリケート塗料のニュージェネレーションであり、現時点で未知の多様な塗装を可能にするゾルシリケート塗料です

また、カイク・ソルダリットは耐風化充填剤と純無機顔料からできており、あらゆる有機塗料下地に対して旧来エマルジョン・シリケート塗料が持っている全ての優位性を併せ持っています。カイク・ソルダリットは DIN 18363 2.4.1 にも準拠しています。(シリケート・エマルジョン塗料)

## 2. 適用下地

カイク・ソルダリットは鋳物系下地にご使用頂けるだけでなくリホーム、音波分散の塗装、シリコン塗装、下塗り等にもご使用できます。ご使用できない例としては、木材、塑弾性塗料、鹼化した旧塗料 (例：成分変化した油性塗料等)、吸い込みが無い下地 (例：ラッカーとワニス等) 軽量コンクリート材等があります。

ソルダリット製品シリーズで下塗りと上塗りを行った後で、顔料を少なくした、希釈仕上げが可能なカイク・ラスワ・シリーズが塗装できます

## 3. 製品性能

- バインダー (結合剤) : シリカゾルと水ガラスの組合せ (ゾルシリケート)
- 多目的塗料
- 耐紫外線、耐酸性雨、静電気防止
- 強力な耐候性
- アルカリ性の為、防腐剤不使用
- 不燃性 (EN13501-1 クラス、等級 A2-s、d0)
- 耐光性顔料使用 (退色しづらい)
- ミネラル系のマット (艶なし)
- フィルム状の塗膜を形成せず、多孔性の塗装面により、強力な透湿性
- 強力な はっ水性
- 環境に優しい (溶剤・防腐剤無添加)
- 理想的な含水バランスでカビ類、菌類の成長阻害

### 材料特性

- 比重 : 約 1.6g/cm<sup>3</sup>
- 有機成分 : < 5%
- pH 値 : 約 11
- 色耐光性 : A1 (BFS 指令シート番号 26、Fb 番号による)

### DIN EN 1062-1 分類

詳細は認証 FPL を参照下さい。

- 水蒸気拡散濃度 :  $V \geq 2000\text{g/m}^2\text{d}$
  - 透湿抵抗値 :  $s_d \leq 0.01\text{m}$   
(乾燥膜厚は約 236 $\mu\text{m}$ )
- 1 等級 DIN EN ISO 7783-2

# テクニカル・データ・シート



カイク・ソルダリット (Keim Soldalit®) —

外壁塗料 (有機塗料のトップコート向け、鋳物系・両方が混在する下地向け)

- 水透過率 (24 時間):  $w < 0.1\text{kg/m}^2 \cdot \text{h}^{0.5}$   
(乾燥膜厚は約 338 $\mu\text{m}$ )  
3 等級 (< 0.1) DIN EN 1062-3
- 光沢: 85°: 1.5  
(乾燥膜厚は約 100 $\mu\text{m}$ ) マット/matt (<10)  
DIN EN ISO 2813

## 色見本

白色、その他の色はカイク・パレットエクスクルーシブ (Keim Palette Exclusiv) とカイク・アドバントガルデ (Keim Advantgarde) をご覧下さい。

フルカラー (単色見本) は 9001S~9012S、LRV $\geq$ 30 は ETICS を参照願います。色付けの際はカイク・ソルダリット単色用濃縮液だけをご使用下さい。

## 注意

カイク・ソルダリット・シリーズ以外の製品/顔料を本製品に混入/混ぜ合わせる事はできません。また、ソルダリット・シリーズ以外のカイク製品でも同様です。

## 4. 塗装方法

### 下地準備

下地は良好で、乾燥し、チョーキングがなく、きれいで、ほこりや油分が無いようにして下さい。脆く、グラグラして不安定な旧塗料は全て機械的に、あるいは高圧洗浄水で取り除いて下さい。適切な修復材料を使って全ての下地の不具合は充填・や風合いを合わせて下さい。新しい下塗りの際にできた焼結はカイク・アトズフラシグケイト (Keim Atzflussigkeit) で取り除いて下さい。

テクニカル・データ・シートでは、新たに下地修繕を行った箇所には、普通はカイク・アトズフラシグケイトを使って前処理する様になっています。吸水性の高い下地にはカイク・フィクサティブ (Keim Fixativ) で下地処理をして下さい。

塗装が仕上がった下地や、風合い違いがある下地、又はヘアライン・クラックがある下地には下地塗りとして (カイク・ソルダリットの代わりに) カイク・ソルダリット・グロブ (高グレード充填剤) を使って下さい。

更に大きなクラックや、風合い違いがひどい場合は (カイク・ソルダリット・グロブの代わりに) カイク・コンタクト・プラスを下地塗りとして使って下さい。

### 塗装

カイク・ソルダリットは刷毛、ローラー、又はエアレス・スプレー (ノズルサイズ: 0.79mm をお使い下さい。詳細はエアレス・テクニクのテクニカル・データ・シートを参照)。下塗りとは仕上げ塗りの間隔は最少 12 時間必要です。

### 下塗り (初回)

通常は希釈しないカイク・ソルダリットを塗ります。又は 5% まで希釈したものを使います。吸い込みが多い下地にはカイク・ソルダリット・フィクサティブを最大 10% (=フィクサティブ最大 2.5 ㍈/25Kg 塗料) で希釈してご使用下さい。

### 仕上げ塗り (2 回目)

カイク・ソルダリットを原液でご使用下さい。

# テクニカル・データ・シート

カイク・ソルダリット (Keim Soldalit®) —

外壁塗料 (有機塗料のトップコート向け、鋳物系・両方が混在する下地向け)



## 推奨:

本作業終了後の調整塗りにはカイク・ソルダリット原液を使いローラーでならずと最善の仕上がりになります。

## 塗装条件

周囲と下地の温度は+ 5 °C以上で作業をして下さい。

直射日光が下地に当たるような状況、あるいは、太陽熱にさらされた下地への塗装作業はお控え下さい。また、塗装後は塗装面が乾燥するまで直射日光、風、雨から保護して下さい。

## 消費量 (1 m<sup>2</sup>あたり)

平滑な下地に2回塗りした場合:

カイク・ソルダリット主材 約 0.45kg/m<sup>2</sup>

※消費量は標準的な数値ですが、塗装の仕方や下地の状態に極めて影響されます。正確な消費量は塗装部分の試し塗りを行った上で確定されます。

## 用具の洗浄

道具の使用後は水洗いですぐきれいにして下さい。

## 5. 包装

5 kg/容器

18kg/容器

## 6. 保管 (場所・期限)

確実に密封し、冷所で霜が掛からない場所で約 12 か月直射日光を避け、熱にもご注意願います。

## 7. 廃棄処分

容器の破棄処分に際していかなる残滓物も無いようご注意願います。

**注意:** 開封・使用后、塗料の残りは小さな容器に移し、塗料が空気に接するレベルを最少にして下さい。

## 8. 安全上の注意

カイク・ソルダリットをご使用の際は、塗装しないガラス、自然石、セラミック、木材等は表面を適切にマスキング・養生して下さい。塗装現場周囲や道路へ飛沫があった場合は直ちに大量の水で洗い流して下さい。飛沫から目や肌を保護して下さい。

塗装作業中の飲食および喫煙は控えて下さい。

子供の手の届かないようにして下さい。

EC Safety Data Sheet を参照願います。

本製品は専門家による塗装と販売を目的としています。塗装に関する数値あるいはラベルの指示には忠実に従って下さい。本資料に記載されている推奨値と特性は膨大な開発作業と実際の経験から得たものです。弊社から塗装に際して口頭あるいは、書面による推奨は弊社製品選定の助けとなるよう意図されたもので、契約関係を成立させるものではありません。特に、弊社の推奨により当社製品の購入や採用義務を負うものではありません。弊社製品は一般的主流の建設技術に準じております。Keimfarben GmbH社は常に製品開発を行う方針を堅持しております。弊社は製品と塗装の改善を目的として製品変更を行う権利を保有するものとします

※本版により従前の全ての版を置き換えるものとします。